

ホームと家族を結ぶ

おとぎずり 158号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X : 0974(42)4187

E-mail : info@ninun.or.jp

<http://ninun.or.jp>

編集・発行

任運荘広報委員会

令和2年度
社会福祉法人

任運社 辞令交付式 開催

|| 目標に向かって ||

4月1日(水)の午前10時より、『令和2年度任運社辞令交付式』を別棟面会室で開催しました。

まず、新職員(2019年4月以降採用者及び2020年度採用者)として、2名の方が紹介されました。

・騰々舎 寮母職 森 裕希子 (2020年1月)

・騰々舎 寮母職 井野 淳子 (2020年4月)

次に、任運社人事で2名の方の異動がありました。

・木本 佳代子 (騰々舎寮母職より任運荘寮母職へ異動)

・山村 徹 (調理職より騰々舎寮母職へ異動)

任運社理事長廣本賢郎より「本来であれば、入社式として利用者・職員が集い、盛大に行うところですが、新型コロナウイルス感染防止のため少人数での辞令交付式としました。新人職員の皆さん、歓迎いたします。任運社では、お世話の八か条や任運騰々々のスローガンを掲げていますが、理想論だけを掲げるのではなく、その理想に少しでも近づこうと常に努力することをお願いします。その方法として、利用者の声を聞く、寄り添い一緒に関わりを持つ事、などがあります。任運荘、騰々舎、なごみ塾、アイサービス、総合相談支援センターなど総勢二百人余りの利用者とは200人あまりの職員とが、同じ目的を持った集団であるということを忘れないで下さい」と、歓迎の挨拶がありました。

続いて、新職員代表挨拶では、森裕希子さんが「手助けを求めている方の為に働きたい、何か役に立ちたいと福祉の仕事は、十八年目になります。その間、利用者の笑顔に出会えたことは今でも糧となっています。昨年、縁あって大分に来ることになり、もう一度、障がい福祉に携わりたいと思い、個人の尊厳を重視し、利用者本位を柱にしている騰々舎に入社しました。日々、利用者の立場に立ち、同じ目線で物事を見て、今、何をすべきかを考えて行動することを、今一度初心に戻り、精一杯努力していきます」と決意を述べました。

担当 森 園美



辞令交付式の様子



森裕希子さん、新職員代表挨拶



廣本理事長、歓迎挨拶

3月8日は『みつばの日』

3月7日(土)の午前、豊後大野市大野町の有限会社青葉産業様より、みつばを頂きました。毎年、「安全で美味しいみつばを皆さんへ」と、3月8日の『みつばの日』にちなんで、市内外の福祉施設へ贈られています。

頂いたみつばは、白和えやかき揚げ、お吸い物などにして、利用者の皆さんに召し上がっていただきました。

青葉産業様、美味しいみつばをありがとうございました。

担当 佐藤里香



五月祭について

例年、5月の第2日曜日に開催しております『任運社五月祭』は、新型コロナウイルス感染防止のため、今年は表彰等を各施設で行い、規模縮小にて催すこととなりました。

つきましては、毎年ご参加いただいております、ご家族や地域の皆様方には、今年は参加を見合わせていただきます。

なお、利用者作品は例年通り作製しております。施設に展示しますので、面会規制解除になりましたら、ぜひお越しください。

任運社五月祭実行委員会

ご家族、ご親族の皆様

平素より任運荘へのご理解を頂きありがとうございます。1月17日に、面会規制の連絡をさせて頂きました。あれから3ヶ月が過ぎようとしております。皆様、快く賛同して下さい心から感謝の気持ちで一杯です。

インフルエンザも落ち着いてきた頃に新型コロナウイルスの脅威と戦わなくてはならなくなりました。高齢者が感染すれば命が奪われます。常に緊張の連続です。職員は手指消毒、手洗い、館内の換気に気をつけています。ご家族に会えない寂しさを少しでも軽減できるよう、利用者へのお声掛けや施設内の行事等で常に利用者のそばに寄り添い援助しております。私たちは職員が心配なく業務に集中できるように、マスクや消毒液の確保を行っています。

廊下でお会いしたある女性利用者の方に「息子さんに会いたいですよ。電話でもかけられますか?」とお声掛けすると一瞬考えられ「電話はまだいいよ。今度会った時に話すことがないと悪いからとっておくよ」と笑顔で言われました。見えない敵と戦いつつも、私たちは利用者の、この言葉や笑顔でどれだけ生かされているかとしみじみと思うのです。窓越しではありませんが、面会でできますし、また、ご心配なことなどいつでもお気軽にご連絡下さい。ご家族の皆様が気兼ねなく面会に来られる日まで、職員一丸となって参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

施設長 吉野 明子

お知らせ

ご家族・ご親族の皆様、窓越しにて利用者との面会を行っておりますが、遠方にお住いの方々は面会が難しいと思います。そこで、携帯やパソコンを通じてのテレビ電話やメッセージを受け取れるようにいたしました。方法は下記の通りになります。

- ① グーグルの『ハングアウト』をインストールします。(無料です)
- ② 任運社任運荘のgメールアドレスを登録します。
gメールアドレス「ninunsou@gmail.com」
- ③ メッセージを送ってください。任運荘のタブレットにメールが届いて、承諾出来次第テレビ電話は可能になります。

※ご不明な点は、任運荘の森か宮崎までご連絡ください。

TEL 0974-42-2338

★広報委員のひとり言

新型コロナウイルスの影響はいつまで続くのでしょうか。私は高校野球のファンで、春の選抜甲子園や夏の甲子園を毎年楽しみにしています。今年の選抜では、大分県から2校の出場予定でしたが、皆さんも周知の通り中止となりました。実は、中学時代に任運荘へ体験学習に来てくれた方が出場予定だったので。いつも以上に楽しみにしていたのですが、残念でした。昨日、インターハイも中止が決まり、夏の甲子園も行われるのかわかりません。早く高校生達が一生懸命に白球を追いかける姿が見れる事を願っております。

つぶやき

村上 昌子さんと平井 綾子さん

職員が、「村上さん、私は今年55歳になりますよ」と伝えると、村上さんは、「まだ55でしょ」と言われる。その会話を聞いていた平井さんが村上さんに、「あなたの1つ下」と言われ、3人で大笑いしました。

柴田 民子さん

若い頃、踊りをされていた柴田さん。お花見のアトラクションで職員が炭坑節をワイワイ踊っているの見て一言。「つまらん。ちゃんと踊らんかー」と、職員は指摘を受けてしまいました。

高山 つよしさん

お花見会での紙芝居『金色夜叉』の終わりに、職員が利用者皆さんに、「愛はお金」かな? 「愛はダイヤモンド」かな? と、問いかけていると、高山さんが「JUNK」と言ってくれました。

後藤 ユキエさん

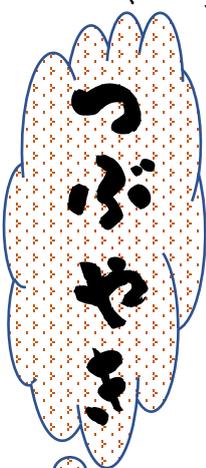
看護師が「お熱を測りますよ」と伝えると、「ええなんええ、肉を測るええ」と言われる。おでこに手をあて「お熱ですよ」と言う、「JUNKのつよつよ」と言われる。熱はないと伝えたかったのかな?

三谷 高明さん

「春のひらひらのすみだがわらわ」と口ずさんでいました。

三代 キヨコさん

「知っているんですか?」と聞くと「知っちゃー!」
「なんまいだあ、なんまいだあ」と手をこすり合わせている。
不思議そうに見ている職員に「明日も来いよー」と言う。



河原 ヨシ子さん

朝方4時頃に訪室すると、「おついでついでーきい、最高じゃあ」と何度か言われた。また、「孫がかわいい」と何回も言われる。職員が河原さんの耳元で「河原さん、私は...?」と聞くと、「ないえ」と言われる。

和田 静子さん

いつも対話会で行きたい所を聞くと、「ホン、マカオ」と答えてくれる和田さん。
「その次はどこに行きたいですか」と聞くと、「北海道」と教えてくれます。
※全部、元気な頃に旅行された所です。

橋 照さん

あまり言葉を発しない橋照さんが久しぶりに、「他んじはどしたんか?」と言われる。「皆さんご飯を食べてますよ。よろしいですか」と答えると、大きく頷いていました。

佐保 ハツ子さん

俳句や詩が得意の佐保さん。職員が「庭を見て、何か一句ありませんか」と尋ねてみると、少し考えられてから、『見渡せば 一面のこい 盛つなほ』

後藤 ツユ子さん

孫になりすました看護師が、「私よ、あけみ」と言うと、看護師の腕をつかんで、「あけちゃんじゃあねえな...」とばれる。「何でわかったんですか?」と尋ねると、「肥えちよん」と一言。

西 博美さん

午前中、「今日はだんごじゃ」と言われながらソワソワしている。
「どうされたのですか?」と尋ねてみると、「農協の会合があるじゃ」と答えられた。また、お昼ご飯を食べた後に、車椅子を自操作してどこかに行こうとされるので、「どこに行きますか」と尋ねると、「飯を食入たげん、会合は終つたや」と答えられた。
※農協の理事をしていたと話してくれました。

節分行事

「鬼はそとく 福はうちく！」

2月2日(日)に、任運荘ホールで『節分行事』を行いました。

今年の年女は、佐藤ルリコさん・佐藤シズコさん・深田アイ子さん・村上昌子さん・橋本恵美子さん・高山ヒサコさんの6名でした。

まずは利用者へ年女の方々を紹介し、『豆まき』の歌を皆さんで歌いました。そこへ、職員扮する赤鬼と青鬼が登場しました。年女の方々には、鬼へめがけて福豆を投げてもらいました。高山ヒサコさんは笑顔で豆を投げられ、村上昌子さんは豆を投げているのかと思いきや「美味しいわよ」と豆をポリポリ食べてました。他の利用者も「鬼はそとくー福はうちくー」と大きな声で、鬼にめがけて福豆を投げるうちに、鬼たちは「あいたたた・・・」と利用者の迫力に負けて退散しました。

ホールに行けなかった利用者の居室にも鬼は現れたようで、衛藤八枝喜さんは「鬼が来たけど、豆を投げて追い払ったわ」と笑顔で話してくれました。

利用者の大きなかけ声や笑い声が響き渡り、とても楽しい節分行事となりました。新型コロナウイルスなどの暗い話題を吹き飛ばし、任運荘に大きな福がおとずれ、利用者の皆さんが、今年も健康で楽しく過ごせますように！

担当 文東 明美



衛藤八枝喜さん、早く赤鬼に豆を投げて～！



河原雪夫さん、赤鬼のお腹にめがけて豆を「えいっ！」



佐藤ルリコさん、青鬼と見つめ合ってる？

利用者全員の顔写真付きお雛様



「美味しいな」と穴見富貴子さん

3月3日(火)、午後より任運荘ホールにて『ひな祭り行事』が催されました。

今年は、利用者全員のお雛様を職員が手作りし、総勢55名のお雛様とお内裏様が飾られました。利用者は自分のお雛様を探していました。

『うれしいひな祭り』を歌って、皆さんから、子供の頃のひな祭りの思い出を聞きました。平井綾子さんは「昔は、朝からお餅を杵でついて、お祝いのお餅をみんなで食べました。手渡されたお餅は、ほんのり温かった。美味しかったわ」と言われ、村上昌子さんは「お母さんが、寒天でようかんを作りました」と話してくれました。佐保ハツ子さんは「昔は、お母さんが何でも手作り！ご馳走をこさえてくれました。お刺身などのお魚は、お店に頼んでいましたね」等々、懐かしい昔話が終わると、おやつは『綿菓子』です。「甘いわ」とけるわ〜と皆さん喜ばれました。

担当 森 園美

うれしいひな祭り

《おひな様とあまーい思い出》

『施設の周辺にある桜の木を見て、春のおとずれを感じました。』

私たちは元気に過ごしていますよ！



引田ケサさん 平井綾子さん



芦刈トヨさん 後藤イサヲさん



後藤ユキエさん 佐藤静子さん



高山ヒサコさん・高山つよしさん・羽田野キミ子さん



高橋アイ子さん



三代智子さん



柴田民子さん

日中活動の様子(ぬい絵・折り紙)



志賀フキエさん



橋本恵美子さん



佐保ハツ子さん

お花祭



色とりどりの綺麗な花で飾られた花御堂

4月8日(水)、この日はお釈迦様の誕生を祝う『お花祭』です。今年は何年以上にたくさんのお花で飾られた花御堂の中に甘茶を入れ、お釈迦様像に柄杓で甘茶をかけて、皆さん一年の健康を祈りました。

お祈りした後は、甘茶とお菓子を楽しみました。ショートステイで利用されている女性利用者も、甘茶を飲まれ「珍しい物を頂いた。良い時に来たわ」と、とても喜びました。

担当 宮崎 正規



衛藤文子さん



甲斐喜代子さん



村上昌子さん



伊東晴子さん、甘茶はどうでしたか?



後藤ツユ子さん



後藤イサヲさん

皆さん一年の健康をお祈りしました

職員お別れ会

3月31日(火)、この日を最後に3名の寮母が退職する事となり、利用者とお別れ会を行いました。退職する寮母は、左記の方々です。

- ・柿迫 元恵寮母 勤続25年
- ・高野 清美寮母 勤続16年
- ・田村 恵美寮母 勤続1年

最初に、この日出勤している職員から3名の寮母へ、職場での思い出や激励の言葉が送られました。涙や笑いに包まれるなか、3名の寮母は「新たな人生を楽しみます」とすっきりとした表情でした。

利用者の佐保ハツ子さんは「ありがとうございました。これから頑張ってください」とエールを送り、高山ヒサコさんは「高野さん、まだやり残した事があるんじゃないですか」と名残惜しそうに挨拶されました。

最後に吉野施設長が3名との様々な思い出を語った後、皆さんで記念写真を撮り、お別れ会は終了しました。

担当 佐藤 里香



皆さんで記念撮影しました。



田村恵美寮母



高野清美寮母



柿迫元恵寮母

高橋 アイ子さん

昭和9年5月21日(86歳)



いつも「お願いします」と言われるので、「何でしょうか」と聞くと「わからん」と笑顔で手をしつかり握ってこられます。

担当寮母 伊東菜保美

衛藤 キヨ子さん

昭和2年5月27日(93歳)



歌うことが大好きで、皆さんの前で披露してくれます。最後まで上手に歌ってくれるんですよ。

担当寮母 小林美悠

工藤 キミエさん

昭和3年5月28日(92歳)



入居されてから半年が経ちました。声をかけると笑顔を見せてくれます。節分行事では、鬼の面を付けて参加してくれました。

担当 工藤浩子

※利用者の年齢は令和2年5月末現在

お花見会

笑顔の花が咲きました

4月7日(火)に、任運荘ホールにて『お花見会』を行いました。

最初に、職員による踊りが披露されました。芦刈トヨさんは手拍子や合いの手をいれて、職員の踊りを盛り上げてくれました。職員全員で『炭坑節』を踊っている時に、日本舞踊の経験がある柴田民子さんから「ちゃんと踊らんか」と指摘を受けてしまいました。次は、利用者も参加して『ほう音頭』を踊りました。これはリハビリも兼ねた踊りで、利用者は日々行っているため、上手に踊りました。

踊りの後は、紙芝居『金色夜叉』を読みました。利用者は真剣に聞き入っており、職員が「愛はお金かな? 愛はダイヤモンドかな?」と利用者之间うと、高山つよしさんは「ころ」と答えました。

昼食は、厨房職員の手作りによる『花見弁当』です。皆さんが好物の巻き寿司や煮物が入っており「美味しいな」と言いながら完食しました。

午後からは、利用者によるカラオケ大会です。皆さん、得意な歌を披露しました。佐藤ナミ子さんは「楽しいね。とても良かったよ」と終始笑顔でした。

今年暖冬だったせいか、施設周辺の桜の花は3月中には満開となっていました。この日まで桜の花はもちませんでしたが、任運荘ホールには、利用者と職員による笑顔の花を咲かせることができました。

担当 羽田野弘美



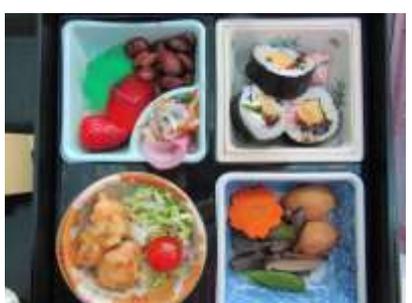
職員による踊りです(上・下)



後藤千代子さんと 佐藤ナミ子さん 二人とも素晴らしい笑顔ですね。



佐藤秀子さん、常にカメラ目線をくれます。



厨房職員の手作り『花見弁当』です。

誕生者紹介

三月生

高山 つよしさん

昭和4年3月1日(91歳)



誕生日プレゼントをお渡しすると、「こんな良いもんを私にくれるんな。サンキュー」と笑顔で言ってくれます。

担当寮母 西原怜菜

渡部 長義さん

昭和2年3月16日(93歳)



今年の誕生日は、ショートステイでご利用中の奥様と、一緒に迎える事ができました。

担当寮母 佐藤美和

眞部 タマアさん

大正15年3月20日(94歳)



「ゼンマイ取りの季節になりましたね」と話しかけると「はい」と、しっかりと答えてくれます。

担当寮母 高倉智恵

首藤 文彦さん

昭和22年3月25日(73歳)



毎日「おはよう」と挨拶され、素敵な笑顔をを見せてくれます。

担当寮母 羽田野瞳

佐藤 眞子さん

昭和3年3月26日(92歳)



とても穏やかな方です。今年のお正月はお屠蘇を飲まれました。

担当寮母 羽田野瞳

四月生

田北 カスアさん

大正14年4月16日(95歳)



食後はホールから自分の居室まで車椅子を自操されます。朝食はパン食で「メロンパン」の日は、特に嬉しそうです。

担当寮母 小平菜穂子

衛藤 千代子さん

昭和10年4月25日(85歳)



テレビを見るのが好きで、時々「うふっ」と笑っておられます。

担当寮母 渡辺加代子

深田 アイ子さん

昭和11年4月26日(84歳)



声かけに笑顔で「そうな」と返事してくれます。優しい笑顔に職員は癒されます。

担当寮母 小林美悠

西 博美さん

大正15年4月30日(94歳)



「昔は、もてて、もてて、しとめんかったんじや。顔も良かったけん」と教えてくれました。

担当寮母 高倉智恵

五月生

高山 ヒサコさん

大正13年5月20日(96歳)



玄関の花の前で写真を撮ると、「息子に送るわ」と満面の笑顔で話されました。

担当寮母 羽田野弘美